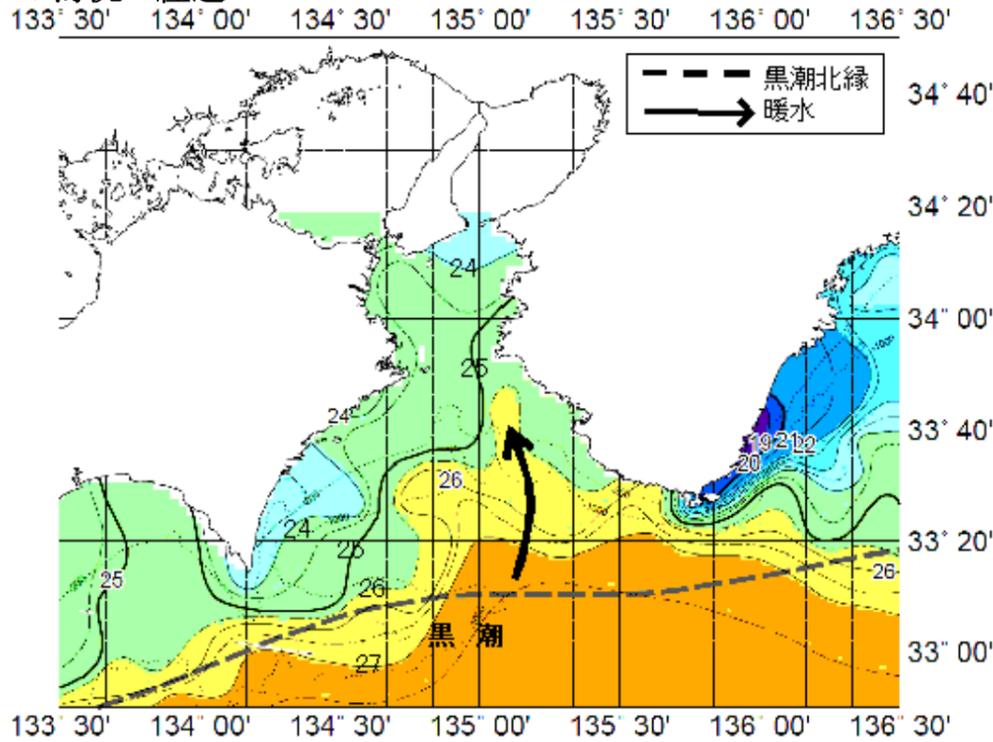


1. 海況の経過

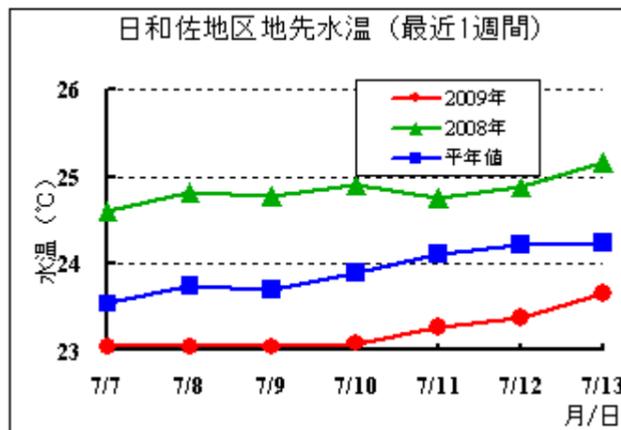
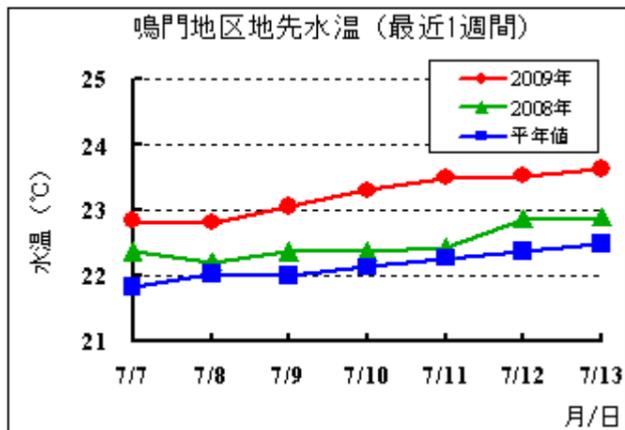


海況

上に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県および和歌山県が共同で作成した海況図(H21.7.13)を示した。  
 黒潮は、室戸岬沖でやや離岸し、潮岬沖で接岸している。室戸岬以西の黒潮は、都井岬沖と足摺岬沖でやや離岸している。  
 黒潮本流の表面水温は26～27℃台である。  
 表面水温は播磨灘が23℃台、紀伊水道が23～25℃台、紀伊水道外域が23～26℃台である。紀伊水道外域では、先週に引き続き和歌山県側から暖水の波及がある。海部下灘では、岸寄りに23℃台と周囲より水温の低い海域がある。

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや高め」の22.8～23.6℃、日和佐地区は「やや低め」の23.1～23.7℃、牟岐地区は「やや低め」～「平年並み」の22.1～24.3℃で推移した。



2. 漁況の経過

海部沿岸の定置網で、中・小主体にマアジのまとまった水揚げがあった。  
**延縄:**海部沿岸で、中主体にアカムツが0.2トン(1日1隻当たり29kg)水揚げされた。  
**小型定置網:**海部沿岸で、ウルメイワシが2.2トン(同203kg)、中主体にカタクチイワシが0.3トン(同78kg)、小小主体にカマス類が0.6トン(同66kg)、キビナゴが1.4トン(同125kg)、中主体にマアジが6.4トン(同188kg)水揚げされた。  
**大型定置網:**海部沿岸で、大主体にイサキが0.8トン(同105kg)、小小主体にカマス類が0.5トン(同87kg)、大主体にゴマサバが0.7トン(同119kg)、小主体にマアジが18.2トン(同2.3トン)水揚げされた。  
**釣り:**海部沿岸で、大主体にアカムツが0.3トン(同10kg)、大主体にイサキが0.2トン(同7kg)、海部沖合で大主体にカツオが2.2トン(同542kg)、紀伊水道で、特大主体にタチウオが1.6トン(同27kg)水揚げされた。  
**パッチ網:**紀伊水道で、シラスが55.9トン(同426kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋) 7月6日～7月12日 県下7漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄		アカムツ	8	230	29	中主体
小型定置網	海部沿岸	ウルメイワシ	11	2,231	203	
		カタクチイワシ	4	312	78	中主体
		カマス類	9	595	66	小小主体
		キビナゴ	11	1,375	125	
		マアジ	34	6,389	188	中主体
		イサキ	8	839	105	大主体
大型定置網	海部沿岸	カマス類	6	524	87	小小主体
		ゴマサバ	6	712	119	大主体
		マアジ	8	18,207	2,276	小主体
		アカムツ	31	307	10	大主体
釣り	海部沖合	イサキ	31	226	7	大主体
		カツオ	4	2,168	542	大主体
		タチウオ	61	1,646	27	特大主体
パッチ網	紀伊水道	シラス	131	55,850	426	

週間予報:

黒潮は、室戸岬で「やや離岸」、潮岬では「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「やや高め」の23℃台後半～24℃台前半、日和佐地先で「やや低め」の24℃台で推移する見込み。

他県情報:

和歌山県のひき縄で、カツオ0.8トン(1日1隻あたり5kg)、キハダ0.4トン(同2kg)、タチウオ2.6トン(同17kg)、定置網でマアジ0.8トン(同150kg)、釣りで、スルメイカ0.9トン(8kg)、タチウオ0.4トン(3kg)、イサキ3.1トン(同27kg)、パッチ網でシラス13.7トン(同203kg)が水揚げされた。

\*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上